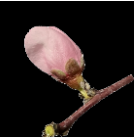


岡山県のもも主要品種における 低温障害の恐れのある温度

表1 経済的被害が生じる恐れのある花蕾の発育ステージ別の温度指標

品種	発育ステージ別の温度指標(°C)					
	花蕾 赤色期	花弁露 出始期	花弁 露出期	開花直前～ 開花始期	満開期～ 開花終期	落弁期
白鳳						
清水白桃	-3.1	-2.8	-2.9	-3.2	-2.9	-2.8
おかやま夢白桃	-3.2	-3.8	-3.3	-3.0	-3.1	-3.0
白皇	-3.8	-3.1	-2.8	-2.2	-2.6	-2.8
白露	-3.4	-3.2	-2.3	-2.5	-2.7	-2.6
白露	-2.9	-3.2	-3.3	-2.7	-2.7	-2.8

注) 表中の温度は、その温度以下に1時間以上遭遇すると、30%以上の雌ずいが枯死し、経済的被害が生じる恐れがある温度である

開発のねらい

もも栽培で、開花期前後に低温に遭遇した年には、結実数が不足することがあります。障害を受ける温度は、品種や生育ステージの違いで異なることが考えられるため、岡山県のもも主要品種において、花蕾の発育ステージ別に低温障害を生じる恐れのある温度について検討しました。

新技術の概要

- 「清水白桃」は、他品種に比べて花弁露出始期以降の温度がわずかに低くても雌ずいの枯死を生じにくく、耐凍性がやや高い傾向です。一方、「おかやま夢白桃」は他品種に比べて耐凍性がやや低い傾向です（表1）。
- 品種によって傾向が多少異なりますが、総じて花弁露出始期から開花終期にかけて耐凍性が低下します（表1）。

活用場面

本温度指標を参考に、各品種の花蕾の発育ステージを確認したうえで、圃場内で対策すべき品種に重点を置くことで、防霜対策を効率的に実施できます。気温と実際の樹体温度は異なり、気温より樹体温度の方が低い場合もあるため、本温度指標より高い気温でも凍霜害が発生する可能性があることに留意してください。